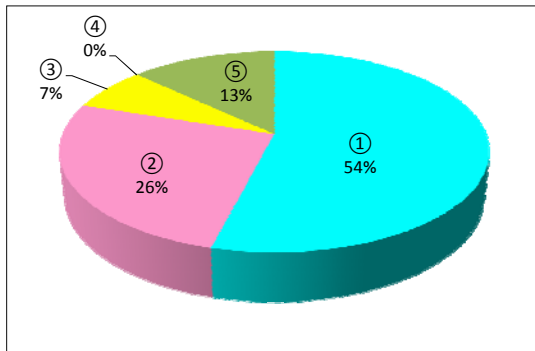


● アンケート調査結果

我が国は、国土面積の約3分の2が森林で覆われた森林国であり、森林は、国土の保全、水源の涵養、木材等の生産等の多面的機能の発揮によって、国民生活及び国民経済に大きな貢献をしています。一方で様々な課題も抱えています。
資料「森林・林業・木材産業の現状と課題」をご覧ください、ご意見をお聞かせください。

質問1

我が国の森林資源は、森林蓄積がこの半世紀で約2.6倍になり、特に人工林では約5.4倍にも達しています。このうち高齢級(10齢級以上)の人工林は、木材等生産機能と地球温暖化防止機能の発揮の観点からは、これらの成熟した森林資源を伐採し、利用した上で跡地に再造林を行う「若返り」を図ることが求められますが、このことについて、どのように思われますか。



① 森林資源の安定的な供給のために必要	33人
② 二酸化炭素の吸収能力(炭素の固定速度)の低下を防ぐために必要	16人
③ 間伐は必要だが、皆伐は小規模に止めるべき	4人
④ 若返りは必要ない(このままの状況で推移するのが望ましい)	0人
⑤ その他	8人

～その他の意見～

- ・伐採、間伐の必要性は認めるが、生物多様性の機能が十分に発揮された豊かな森林(天然林)となるのが望ましい。
- ・樹種や林齢が多様化した針広混交林化を図るべき。
- ・若返りの必要性が分からない。
- ・伐採後に下刈りなどの造林作業ができる者がいれば再造林を行っても良い。

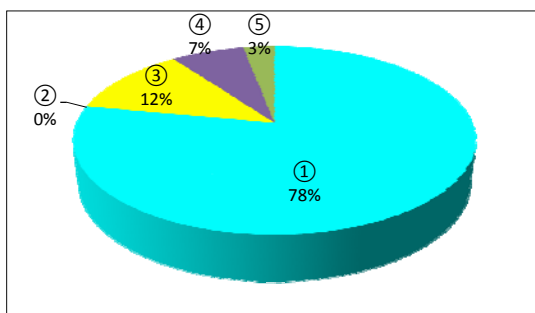
質問2

質問1で③「間伐は必要だが、皆伐は小規模に止めるべき」、④「若返りは必要ない」と回答された方に伺います。そのように思われた理由を記載して下さい。

- ・土砂崩れ等が発生しやすくなるため。
- ・森林の育成には長い年月が必要だから。
- ・森はたくさんの生物の集合体なので、少しずつ自然の中で変化させていく方が、動植物に負担がかからないため。
- ・手入れされた森林は間伐を行い、より高い付加価値の得られる施業を行い、これまで整備されてこなかった森林は、皆伐による再造林を行ったほうがよい。

質問3

日本の森林の蓄積は約49億m³ありますが、1年間に増加する森林の量は約1億m³あり、全てを使っても日本の森林は今の豊かさを保つことが可能です。日本の木材供給のあり方についてどのようにお考えですか。



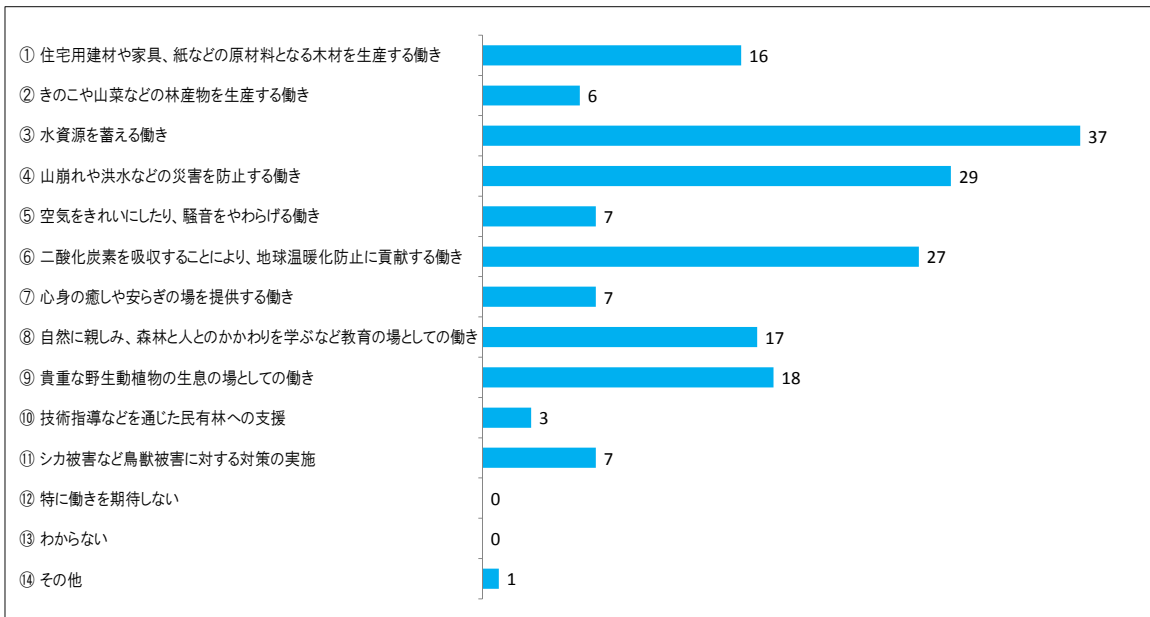
① できるだけ国産材でまかなうべき	47人
② 輸入材を増やすべき	0人
③ 国産材、輸入材のどちらでも良い	7人
④ 分からない	4人
⑤ その他	2人

～その他の意見～

- ・環境に配慮し、節度を持って本当に必要な分だけ使うなら、国産・輸入は問わない。
- ・使って問題が無いのであれば、国産・輸入に関わらず使えば良い。

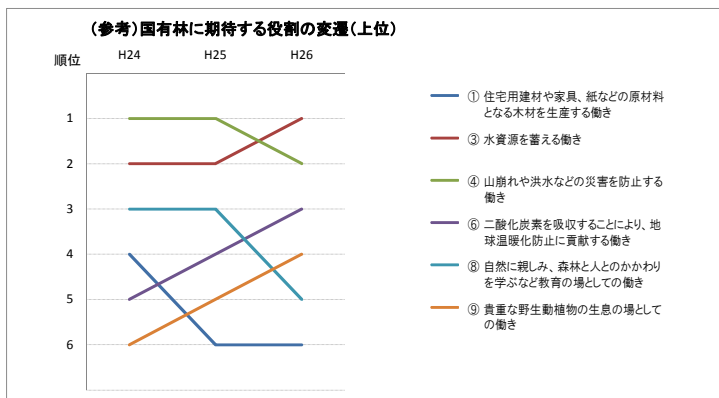
質問4

森林は、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全、地球温暖化の防止、林産物の供給などの多面にわたる機能を発揮しています。あなたが国有林に期待する働きは何ですか。(3つ選択)



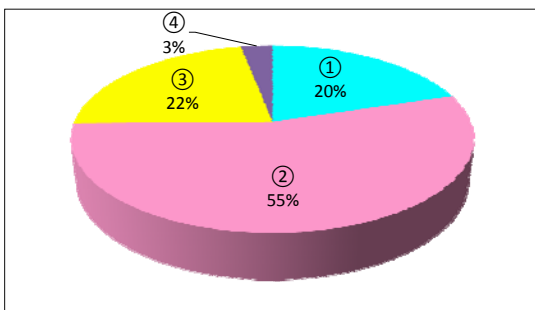
～その他の意見～

- ・自然景観の維持。



質問5

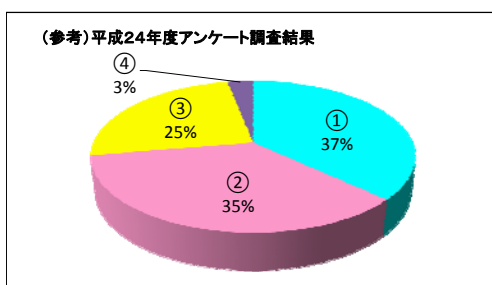
地域の安全・安心への取組みとして、治山対策を推進していますが、最も優先的に取り組む必要があると思われるものは何ですか。



- ① 災害により発生した崩落地等の復旧整備 12人
- ② 災害に強い森林を作るための間伐等の森林整備 32人
- ③ 災害発生に備え、危険地区や避難場所等の周知 13人
- ④ その他 2人

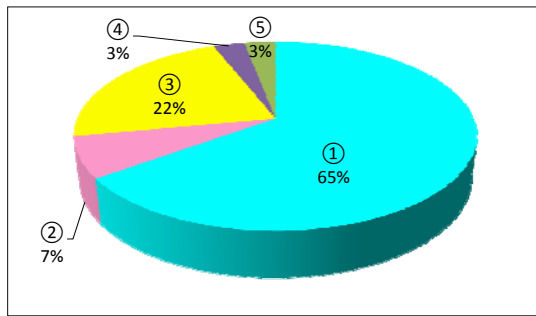
～その他の意見～

- ・災害発生に備え、崩落しそうな山地への植林などの予防対策が必要。
- ・管理者の責任を明確にして、正しく管理する必要がある。



質問6

治山事業等では、木製の谷止工や丸太積土留工等を積極的に取り入れ、間伐材の利用促進、コスト削減等に取り組んでいますが、治山施設等に木材を利用することについてどのようにお考えですか。



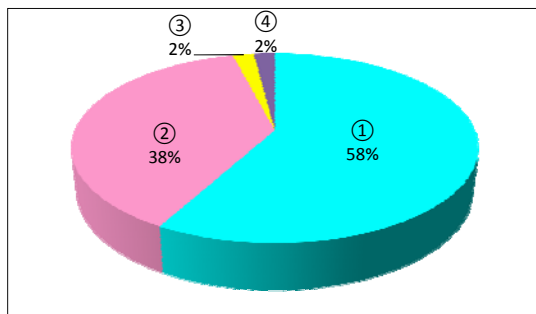
- | | |
|-------------------------------|-----|
| ① 森林資源の有効活用のため積極的に利用すべき | 39人 |
| ② コスト削減のため積極的に利用すべき | 4人 |
| ③ 景観や自然環境のため積極的に利用すべき | 13人 |
| ④ 安全対策なので頑丈で長持ちするコンクリートを使用すべき | 2人 |
| ⑤ その他 | 2人 |

～その他の意見～

- ・治山施設等への木材利用が、安全上問題が無いかわからないため、判断できない。
- ・長期的に機能が維持され続けるように適切なメンテナンスが必要。

質問7

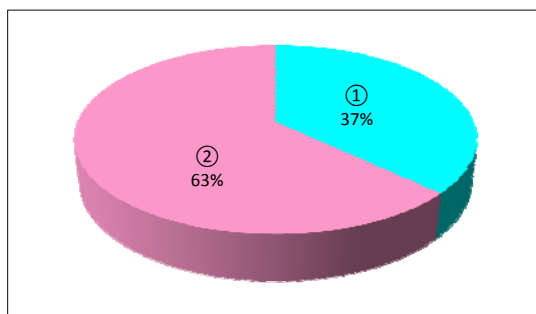
あなたは、普段の生活のなかで、地球温暖化を実感しますか。



- | | |
|-------------|-----|
| ① 非常に実感する | 35人 |
| ② まあ実感する | 23人 |
| ③ あまり実感しない | 1人 |
| ④ まったく実感しない | 1人 |

質問8

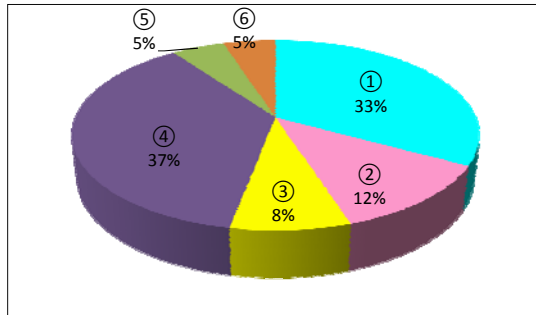
地球温暖化防止対策において、温室効果ガス(二酸化炭素)の排出抑制とともに、その吸収源である森林の整備は重要な役割を担っています。「京都議定書」の第1約束期間では、我が国の温室効果ガス削減約束6%(1990年比)のうち、3.8%分を森林吸収量で対応していたことはご存知でしたか。



- | | |
|----------|-----|
| ① 知っていた | 22人 |
| ② 知らなかった | 38人 |

質問9

地球温暖化防止対策への取組みとして、あなたが最も望むものは何ですか。



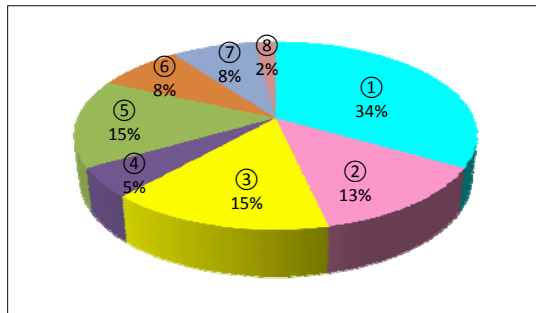
- | | |
|---------------------------------------|-----|
| ① 工場などの産業部門における温室効果ガスの削減 | 20人 |
| ② 家庭で行う地球温暖化対策の推進(節電、太陽光電池の普及など) | 7人 |
| ③ 森林の整備による森林吸収量の最大限の確保 | 5人 |
| ④ 自然再生エネルギーによる発電(太陽光、水力、風力、木質バイオマスなど) | 22人 |
| ⑤ 海外での植林、森林整備などの国際貢献 | 3人 |
| ⑥ その他 | 3人 |

～その他の意見～

- ・中国の環境について、もっと他国と連携・協力し、早急に支援を行うべき。
- ・CO2に関しては、アメリカ合衆国や中国をなんとかするほうが効果的。一方で、地球温暖化対策は本当に必要なか疑問がある。
- ・原子力発電の利用を推進する。

質問10

あなたが民有林(私有林)に最も期待する働きは何ですか。



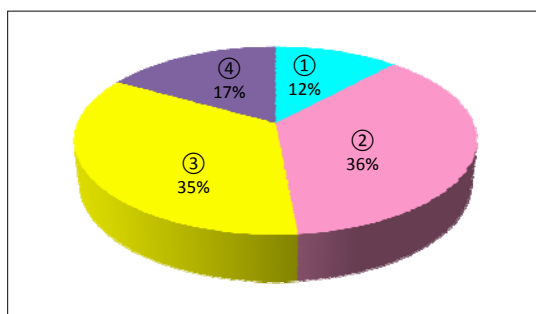
- | | |
|--------------------|-----|
| ① 木材生産や林産物生産(きのこ等) | 20人 |
| ② 水源の涵養 | 8人 |
| ③ 災害防止 | 9人 |
| ④ 大気浄化・騒音緩和 | 3人 |
| ⑤ 地球温暖化防止 | 9人 |
| ⑥ 保健休養や野外教育 | 5人 |
| ⑦ 野生動植物生息の場 | 5人 |
| ⑧ その他 | 1人 |

～その他の意見～

- ・一般人も気軽に木材が利用できる産業となることを期待。

質問11

我が国の林業においては、小規模な森林所有者(林家)が多数を占め、規模が小さいほど森林経営の意欲が低下しています。また、私有林面積のうち、約4分の1は不在村者が保有する森林となっています。先ほど質問10でお答えいただきました民有林に期待する働きを発揮するためにはどのような施策が必要と思われますか。



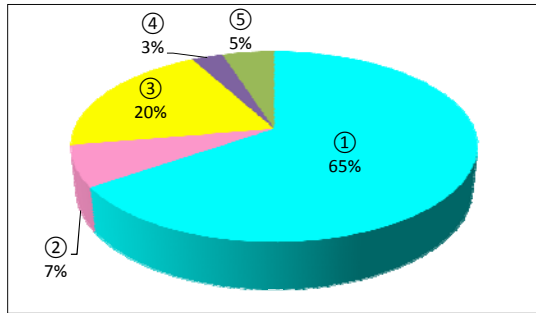
- | | |
|--------------------------|-----|
| ① 森林所有者の責任で実施 | 7人 |
| ② 国が直接管理(民有林を国が施業実施) | 22人 |
| ③ 市町村が直接管理(民有林を市町村が施業実施) | 21人 |
| ④ その他 | 10人 |

～その他の意見～

- ・森林所有者と市町村が協力して実施すべき。
- ・補助金を目的化して支払う。
- ・農地中間管理機構のような民間組織が実施するほうが良い。また、こうした民間組織を育成するための制度改革・規制緩和が必要。
- ・民有林の森林所有者は高齢者も多く、ほとんどが放置林となっており、市町村が管理しても共倒れの可能性がある。
- ・地域特性を活用したブランド化・システム化により、林業の活性化を図るべき。
- ・林家の状況により対応者は変わってくる。放置していたのであれば、国・市町村・森林所有者すべてに責任があり、3者が管理を行うべき。
- ・責任者が明確になっていない状況では、誰が管理してもうまくいかないのでは。
- ・管理は国・市町村のどちらでも良いが、人工林を減らし保水力のある自然林に戻すべき。

質問12

間伐等の手入れの行き届かない民有林や伐採後再造林されない民有林が問題となっていますが、あなたが最も危惧する点は何ですか。



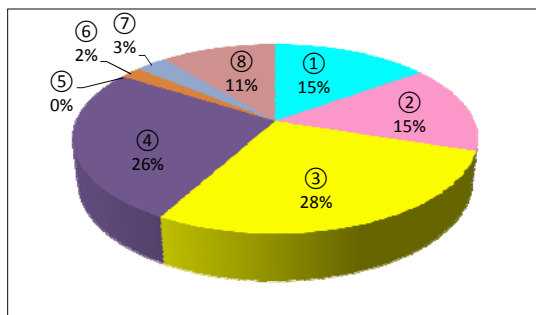
① 山地災害の発生	40人
② 獣害・病虫害の発生	4人
③ 山村地域の過疎化	12人
④ むしろスギ、ヒノキ林が減るので良い	2人
⑤ その他	3人

～その他の意見～

- ・人が周りに住んでいないという条件下では、特に問題はないと考える。
- ・木材の品質低下。

質問13

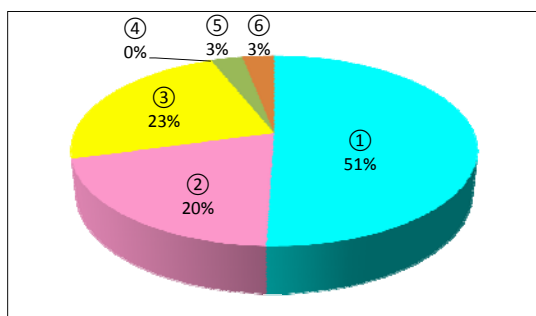
国有林では、市町村や森林所有者等への指導等を的確に行うことができるフォレスター（森林総合監理士）を育成しています。フォレスターの役割について、あなたが最も期待するものは何ですか。



① 市町村森林整備計画の作成等に必要情報の収集等	9人
② 市町村森林整備計画の各計画事項についての案の作成	9人
③ 市町村森林整備計画の案についての関係者への説明と合意形成	17人
④ 森林経営計画を作成しようとする森林所有者等に対する指導・助言	16人
⑤ 森林経営計画の認定	0人
⑥ 森林施業等の実施状況の把握	1人
⑦ 必要な施業の勧告	2人
⑧ フォレスターの役割が分からない	7人

質問14

我が国の木材自給率は、平成14年度の18.2%から、平成24年度には27.9%と回復傾向にあります。もし、ご自宅を建築する場合を仮定して、国産材の使用についてどのようにお考えですか。



① 国産材（県産材）を積極的に使用	30人
② 外国産材と比べ安価であれば国産材を使用	12人
③ 価格より品質・性能・デザインが良ければ国産材を使用	14人
④ 鉄筋コンクリートやマンションが良い	0人
⑤ 大手メーカーが安心なので木材を選択する余地が無い	2人
⑥ その他	2人

～その他の意見～

- ・既存の古材を活かしつつ、その他必要部分は国産材を使用していく形にしたい。
- ・木材の品質を明確にして欲しい。

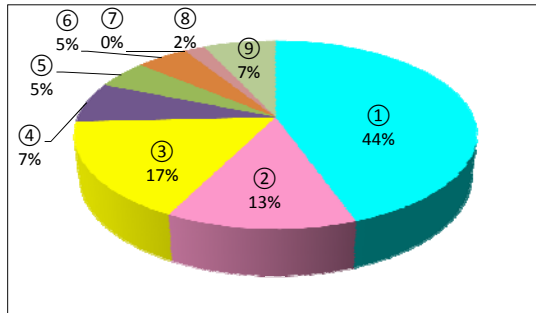
質問15

森林・林業基本計画では、平成32年には木材自給率50%を目指すこととしています。国産材や木製品を多くの方に使っていただくために必要と思われることは何ですか。

- ・国産材の低価格化を図る。
- ・輸送費や製材等における機械化・自動化を進めコストの削減を図る。
- ・新聞、テレビなどのマスコミを利用した啓発活動の推進。
- ・木材利用ポイント事業の充実と宣伝活動が必要。
- ・公共施設を木質化し、耐火性・耐震性などのアピールや、木製品が持つ木の良さをPRすることが必要。
- ・地産地消のブームにあやかった販売戦略等の検討。地域特性を活用したブランド化とシステム管理の推進。
- ・小中学校において、森林・林業・木材利用について教育を実施。
- ・体験教室や木工教室などに参加し、自然とふれ合う機会を作ることが必要。
- ・国や県、市町村の施策や税制面で、県産材や木製品の積極的な活用を図ることが必要。
- ・定年退職者等を森林作業者に雇用するなど、林業家の育成が必要。
- ・外国産材の輸入に規制を設ける。
- ・自給率50%を目指す理由が分からない。

質問16

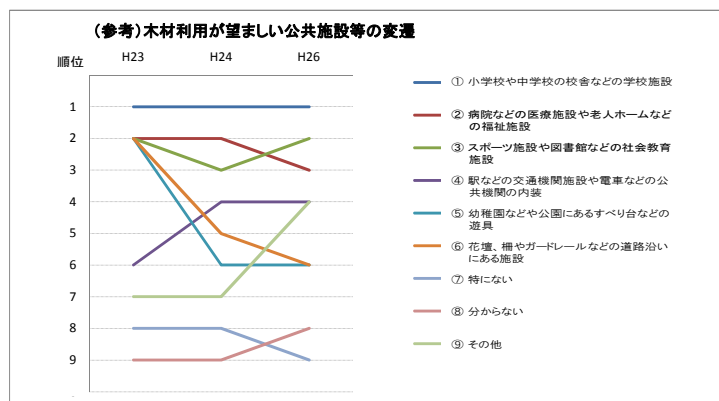
国や地方公共団体が公共施設や設備に木材を利用する場合、どのような施設が望ましいと思いますか。



① 小学校や中学校の校舎などの学校施設	27人
② 病院などの医療施設や老人ホームなどの福祉施設	8人
③ スポーツ施設や図書館などの社会教育施設	10人
④ 駅などの交通機関施設や電車などの公共機関の内装	4人
⑤ 幼稚園などや公園にあるすべり台などの遊具	3人
⑥ 花壇、柵やガードレールなどの道路沿いにある施設	3人
⑦ 特にない	0人
⑧ 分からない	1人
⑨ その他	4人

～その他の意見～

- ・建物等には耐震基準があるので内装材としての使用が望ましい。
- ・利用できる所から実施すればよい。
- ・木材に固執する意図を明確でないため、判断ができない。



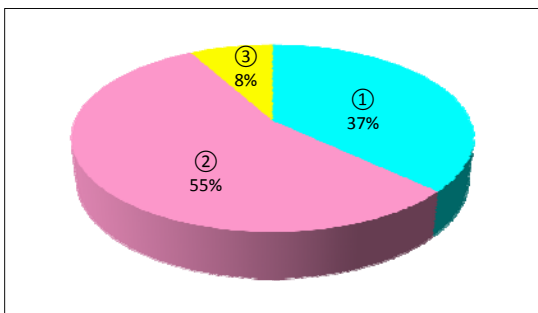
質問17

あなたがお住まいの地域では、どのような木造建築の公共施設がありますか。また、その木造建築施設について、どのような印象やご意見をお持ちですか。

<p>○学校、幼稚園（12名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型施設でも木造建築が十分可能。 ・落ち着いた雰囲気と温かみを感じられ、子どもたちの豊かな心、生きる力を育むなどの教育上の効果も期待できる。 ・木材には独特な温もりがあり、安心感がある。
<p>○公園内の施設（8名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園にマッチしており、落ち着いた雰囲気がある。 ・概観、内装ともに美しく、中に入るとホッとする。 ・とてもリラックスできる空間となっている。
<p>○介護施設・児童施設（4名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者も職員も、精神的に穏やかな気分になれると思う。 ・地域材を利用しており、工事事業者、職員も地元の方ばかりで、地産地消、ウッドマイレージ、地域活性の面からも、とてもいい取組みとなっている。
<p>○駅（3名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみやすい。 ・ぬくもりを感じることができる。
<p>○役場、音楽ホール、競技場、集会所、図書室など（10名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統と格式、日本らしさを感じることができる。 ・昔ながらの木造建築で心が和む。 ・古き良き木材がそのまま使われており、改めて木の耐久性や温もり、風土に合った建築であることが認識できる。
<p>○分からない、見当たらない（24名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部が鉄筋コンクリート製で大型の施設だと思う。 ・火事に対して有効な手段や耐久性について示さなければ安心して使用できない。 ・小学校などの公共施設に積極的に木材を利用し、PRすることで市民の目に触れる機会も多くなると思う。

質問18

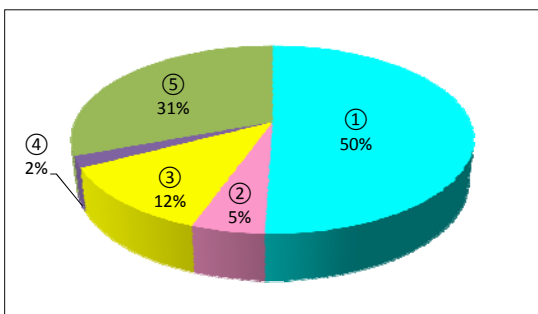
新たな建築用資材として、CLT(直交集成材)という木材製品が注目を集めていることはご存知でしたか。



① 知っていた	22人
② 知らなかった	33人
③ 言葉は知っているが、どのようなものかは分からない	5人

質問19

再生可能エネルギーによる発電について、最も注目しているものは何ですか。また、そのように思われる理由は何ですか。



① 太陽光発電	30人
② 風力発電	3人
③ 地熱発電	7人
④ 水力発電	1人
⑤ 木質バイオマス発電	18人

<p>○太陽光発電</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発電の安定性と周辺との環境調和において優れているため。 ・設置が比較的容易で、設置場所もたくさんあるため。 ・個人でできる一番身近な手段であり、周辺でどんどん普及しているため。 ・太陽光エネルギーは無限であるため。
<p>○風力発電</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景色に溶け込んだ感じが良い。プロペラが回るのは見ていて美しい。 ・日本は島国なので風力が一番期待されるため。
<p>○地熱発電</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火山国ならではの有効エネルギーだから。 ・地熱はそれだけで、熱源として利用可能な純国産エネルギーだから。
<p>○水力発電</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田舎型のスマート・ビレッジの実現には、小水力発電による再生可能エネルギーの可能性がありそうだから。
<p>○木質バイオマス発電</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未使用の資源を有効活用し、森林の健全化、農山村の振興等に直接つながるため。 ・地域にムラのない木質バイオマス利用の発電は、山林回復の決め手となると考えるため。 ・燃料にできる物を利用しないのは、もったいないから。 ・気候に左右されず、リサイクル性が高いと思うから。 ・海外で見てきたことがあり、その有効活用は日本でも出来ると思うから。 ・知らなかったので、これから注目していきたいから。 ・木質バイオマス発電は、材木(国産)市場が活性化し、木くず等が多く発生する事が前提となる。

その他のご意見

<ul style="list-style-type: none"> ・年々増加する自然災害からの被害を低減するためには、国有林の役割は極めて大きく、これまで以上に防災対策の観点での管理経営を行って欲しい。 ・林野庁の仕事について国民に広くPRするために、見学会や学習会を開催し、林野庁のことを誰もが知っているようにして欲しい。 ・国産材の利用は単なる木材の利用促進だけでなく、日本の環境保全、地球温暖化防止、地域振興等に大いに役立っていることを含めて積極的にPRすることが必要。 ・最近、映画「WOOD JOB」が話題になっているが、森林が日々の生活に役立っていることを具体例を挙げて、広く宣伝して欲しい。 ・林野庁や森林管理局の情報発信は目を向けるべきものが少なくありません。定期的に森林・林業・木材産業の振興や地方活性化と森林・林業との関わりといった読み物風の提供を行ってはどうでしょうか。 ・広報誌などにより、環境保全・育成・清掃活動を実施(支援)している企業等を紹介して欲しい。その企業の活動や取組みを知ることから、環境問題に取組む企業の商品を購入し、間接的に環境保全に協力していくことができる。 ・民有林は、放棄水田対策と同様に国土の荒廃を招いているところもあるため、国有化の推進などにより荒廃を防いで欲しい。 ・モニター同士のネットワーク作りがほしい。 ・獣害による野生動物の駆除は不可欠であるが、命を大切にするためにもジビエ流通(特に処理場建設)の活性化を進めて欲しい。 ・外国資本による森林買収への対策を講じて欲しい。 ・林野庁だから木材にこだわるのは理解できるが、木材一辺倒では最適な環境を整えることは困難では。木材以外の素材も併せて考慮する必要がある。 ・送付される資料が毎回分かりやすく、とても助かっています。私以外の家族の者も興味を示し読んでいます。 ・森林や国有林は普段の生活の中でなかなか触れたり、目にする機会がないのですが、林野庁が森林をフィールドにどのような活動をしているのか、毎回の資料を読んでいるとよく分かります。
